

介護予防・地域ささえあいサポート拠点整備モデル事業

● 背景

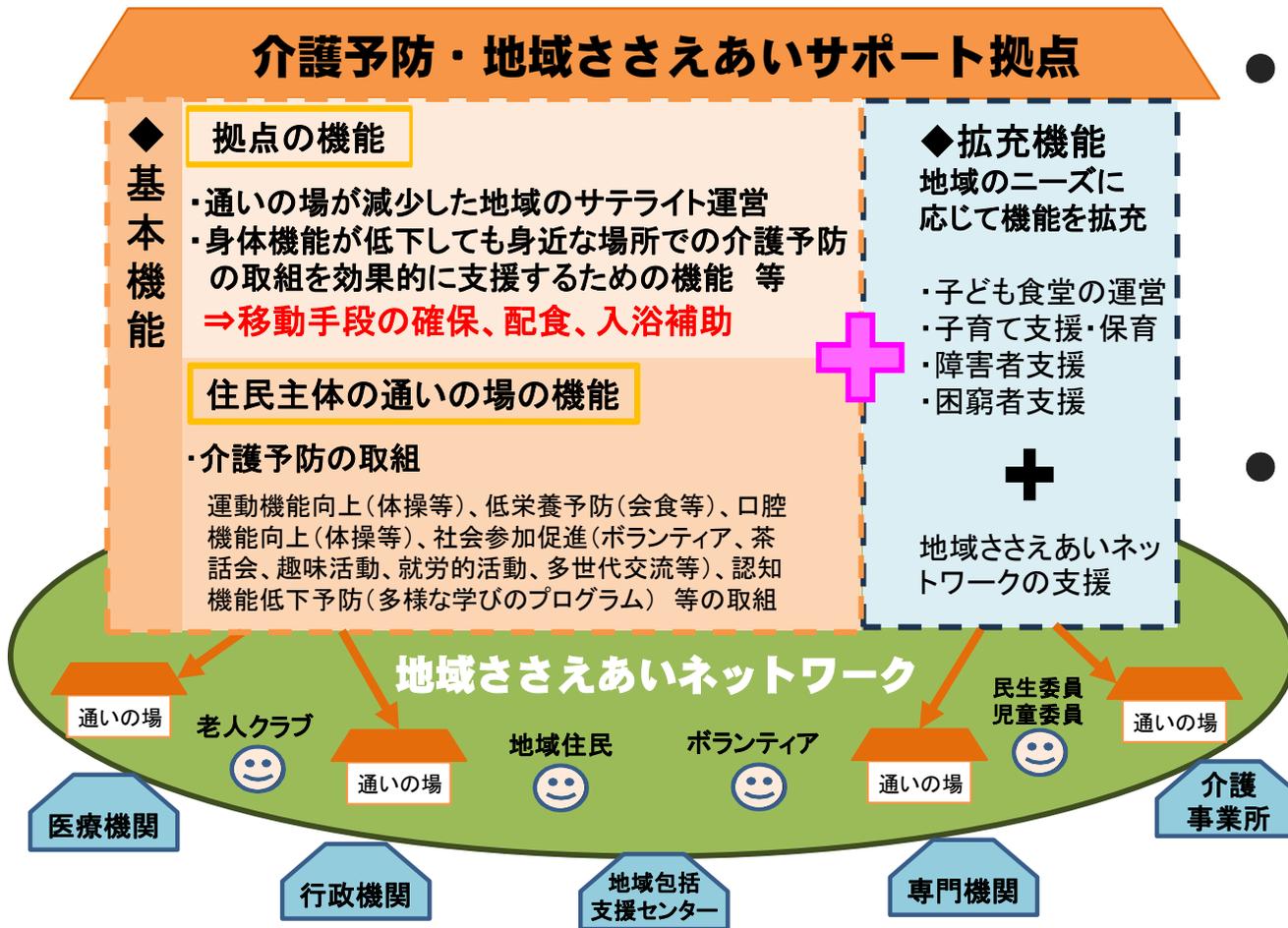
＜現在＞

通いの場は、住民主体の介護予防の取組を推進する場として、高齢者の社会参加を促すとともに、支え合い機能や多世代交流の場として地域共生社会の実現の一翼を担っている。

＜今後＞

- ・高齢者の健康寿命を延伸するために、更なる介護予防の取組が重要
- ・人口が減少している地域や中山間地域等を中心に、高齢者支援の担い手が減少
- ・身近な場所での介護予防の取組を効果的に支援するための拠点が必要
- ・人口減少等に伴い、地域のニーズに応じて、子育て支援や障害者支援等の機能も担う

● 介護予防・地域ささえあいサポート拠点(イメージ図)



● 施策の目的

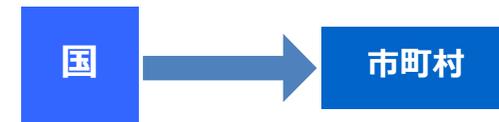
- ・身近な場所での介護予防の取組を効果的に支援するための拠点をモデル的に整備
- ・人口減少・中山間地域等において、あわせて地域のささえあいを効果的に下支えする機能をモデル的に実施

● 施策の概要

高齢者の健康寿命延伸に資する介護予防の取組を中心に、地域で支え合い、多様な機関や関係者が連携して取組を支援する拠点を、人口減少・中山間地域等に整備するモデル事業を行う。

● 施策のスキーム図、実施要件(対象、補助率等)

- 実施主体: 市町村(10か所)
- 補助率: 国10/10
- 事業スキーム



● 施策の対象経費

1市町村あたり5,000万円以内を基本とする。
(内訳)

- 施設の改修等に係る経費(工事費等)
- 拠点の立ち上げに係る経費(人件費、消耗品費等)
- 送迎等に係る経費(賃借料、燃料費、保険料等)
- 研修等に係る経費(謝金、旅費、会場借料等)